

Q

空き家等の相談可能なセクションを設けたらいいかがか



ひこ かつ 彦 勝 田 永



映像はこちらから

A 市民が気軽に活用の相談ができるよう周知し対応する

Q 空き家と思われる建物を散見する。まだまだ活用可と思える建物。所有者に活用を視野にと希望する。市として空き家等の相談可能なセクションを設けたらいいかがか。

A 平成29年度に協働推進部自治振興課内に空家対策係を新設し、空き家に関する様々な相談に対応する窓口を設置しており、常時相談を受け付けているほか、不動産団体や司法書士会など協力のもと、相談会を開催し、多くの方の相談を受けている。今年度は、広報ふかや7月号に「空き家問題」について特集記事を掲載し、空き家の適正な管理や活用等の啓発を行い、市民から活用等に関する問合せや相談も多くなっている。今後とも、空き家の相談窓口や対策については市民に分かりやすく周知するとともに、気軽に活用の相談ができるよう対応していく。

●人口増対策について

Q 本市の人口増を図るため、どのような対策を講じているか。

A 「人口増加」ではなく、「人口減少の抑制」としてまちづくりを行っている。まずは、まちの魅力を高めることが重要であり、特にSDGsの視点をもった、5つの主要プロジェクトを掲げており、このひとつとして、「ふかや」の魅力を生かした移住定住推進」に取り組んでいる。引き続き、まちの魅力を高めたいことにより、人口減少の抑制につなげ、持続可能なまちづくりを進めていく。



Q

ポイントバックキャンペーンの予算について



あき ひで 秀 明 出 山 徳



映像はこちらから

A 9月の補正予算で議決済み

Q 令和5年12月実施の地域通貨ポイントバックキャンペーンの予算が2億円とあるが、増額はできないか。

A 20%ポイントバック分の経費として2億円を計上している。この予算は令和5年9月議会において補正予算として議決済みである。

Q 8月の県知事選のネギチャレンジについてのアンケート結果より、ポイントバック率を上げてほしい、期間が短すぎる、このようなチャレンジをまたやって欲しいなどの回答が多数あるが、近いうちにまた実施する予定はあるのか。

A このキャンペーンは新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を財源としている。来年度は通常の財源となるので、経済動向をみながら必要性があるかどうかでも考慮し、検討していく。



中央土地区画整理事業設計図

Q

川本南地区の「へるりん」バスを山形県南陽市沖郷地区で運行しているデマンドタクシーのように運営方法を検討出来ないか。



おか ひとし 岡 仁



映像はこちらから

A 多角的な視点から調査、研究を行っていく

Q 川本南地区の「へるりん」バスを山形県南陽市沖郷地区で運行しているデマンドタクシーのように運営方法を検討出来ないか。

A 南陽市沖郷地区は公共交通の空白地域であった。深谷市は「へるりん」定期路線とデマンドバスにより、空白地域はない。南陽市のデマンドタクシー形態は、「ドアツードア」という点は優れているが、「利用対象が60歳以上」「運行時間が平日8時〜17時」「利用料金1回500円」とサービスが限定されている状況。デマンドタクシーの導入については、多角的な視点から調査、研究を行っていく。

Q

深谷ビッグタートルのエアコンの更新・改修について



ひで き 秀 樹 島 福



映像はこちらから

A 専門業者に確認するなど、様々な対応を検討する

Q エアコン等の設備の老朽化について市の考えは。

A 深谷ビッグタートルは1993年(平成5年)に竣工し、今年で築30年を迎え、経年による設備等の老朽化が見受けられるものの、定期的な保守点検や小規模な修繕等を実施しながら日々運営している。今年8月に利用者よりエアコンの効きの悪さを指摘されたことを受け、エアコンの保守点検業者に調査を依頼したところ、大きな故障はないものの、冷えきらない状況については、伝熱管内の経年汚れによる伝熱性能の低下によるものと考えられ、清掃による改善が見込まれることから、まずは機器の清掃及び点検の実施を検討していく。また、本施設は屋内体育施設として県下でも有数の規模を誇り、プロスポーツチームによる興行や、全国規模の大会から市民大

会まで幅広く開催される施設であることから、各種設備や機器等についても、指定管理者を含めて、修繕や更新等を計画的に実施していく。
Q 本施設は災害時の避難所として指定されているが、エアコンの必要性についてどのように考えているか。
A エアコンの不具合は、平時の利用はもとより、災害時の避難生活にも影響が及ぶものと考えている。エアコンの早期の清掃及び点検の実施を検討すると共に、今後どのように対応していくことがいいのか様々検討し、避難者が安全かつ安心に滞在できるように努めていく。



●中学校の部活動改革(地域移行型)について、本市の状況は。

A 本年11月中旬より休日の活動を